



# 木曾川流域圏協働体をめざして

## トラストの森を購入

場所は処分場予定地に近い里山、周辺の民有林の間伐を開始した。間伐材で作業小屋を建設。材木市場への試験出荷も行った。

上下流域交流の森として、森のコンサート、素人のための木こり塾、山菜を食べる「春を味わう」などのイベントも随時開催。



間伐は緊張する作業だ



「水源の森・みたけ」のスタート



「素人のための木こり塾」参加者

## 御嵩町町有林整備活動開始

2006年から御嵩町と協定を結び、3haの町有林の間伐・枝打ちを始めた。



協定書調印式  
柳川町長とトラスト副代表



浄財を集めたリーフレット

焼印を押した間伐材グッズ：環境フェアで好評だった



## 第2回木曾川流域圏シンポジウム開催

## 水トラストの山仕事は毎月第2土曜日とそれに続く日曜日！

御嵩町中公民館午前10時集合、夜は現地公民館宿泊、囲炉裏を囲んでの語りも楽しい

各種助成金を頂き、チェーンソー5台体制となり、1日に50年生のヒノキを100~150本間伐できるようになった。危険な仕事だからあわてず無理せず。自慢は、10年間無事故である。



豪華な野草料理



シイタケの菌打ち作業

木曾川流域圏で連携の必要確認  
大山のシンポ、石首長出席  
（行・日・時）9月14日（日）10時～12時  
会場：大山公民館  
木曾川流域圏で連携の必要を確認するシンポジウムが、14日（日）10時から大山公民館で開かれた。石首長が出席し、流域圏の現状や課題について話し合った。石首長は、流域圏の連携を促進し、地域活性化を図る必要があると述べた。シンポジウムには、流域圏の自治体関係者や専門家など約40人が参加した。



御嵩町、日進市、加子母村、多治見市、犬山市の5首長の

参加を得て、開催。後に中部水道企業団の水源基金設立の契機のひとつとなった。

中部水道企業団水源基金リーフレットから



## 第3回流域圏シンポジウムを本年8月30日に開催するべく準備会が始まりました！

みたけ・500万人の木曾川水トラスト連絡先：  
〒456-0034名古屋市熱田区伝馬2-28-14 「働く人の家」気付  
<http://homepage3.nifty.com/mitake/>  
E-mail: [mitake500np@yahoo.co.jp](mailto:mitake500np@yahoo.co.jp)

これまで支援いただいた以下の方々、団体、企業に感謝します

たくさんの市民、セブンイレブン緑の基金、リコー中部販売、日本財団、連合、国土緑化推進機構・緑の募金